熊本北高校　第Ⅲ期　KUMAKITAルーブリック（2022.6.20 ver.）

伸ばしたい力		S （5点）	A （4点）	B （3点）	C （2点）	D （1点）
		求めているレベルを越えて達成している。（深い関与）	求めているレベルを十分に達成している。（関連性、応用と分析）	求めているレベルをおおむね達成している。（多様性）	求めているレベルを達成できていないが努力が認められる。（二元論）	求めているレベルを達成するには大きな課題がある。
課題発見力	疑問力	○疑問点をそのままにせず、自らの力に加え、外部機関などのソースを活用して、研究を進めることができる。	○研究を進める過程で生じた新たな疑問点をそのままにせず、自らの力で研究を進めることができる。	○疑問点を見出し、周囲や友人のサポートを受けながら自ら研究を進めることができる。	○疑問点を見出すことはできる。	○疑問を感じても、疑問点を見出すことがで 不十分である。
	考究力	○得られた結論から、社会や個人との関わりを見出し、さらなる研究を進めることができる。	○観察・実験を通して、新しい課題を見出し、粘り強く取り組むことができる。	○課題に取り組み、観察・実験を通して、答えを導こうとしている。	○課題に対して、安易にインターネットの情報や友人の意見に答えを求めようとする。	○研究に参加しているが、積極的に課題に取り組んでいない。
研究遂行力	アプローチ、戦略	○研究分野の現状を把握し、自ら選択した解決方法を位置づけ、グループでそれぞれの長所を活かし、研究を進めることができる。	○新たな課題に対して、焦点を絞りこみ、身につけた解決方法を用いて、グループで適切に役割分担を行い課題にｱﾌﾟﾛｰﾁできる。	○課題解決の方法をいくつか知っており、グループで情報を共有できている。	○目の前の課題を解決する方法を学んでいるが、グループ内での情報共有が十分ではない。	○目の前の課題を解決するする方法を学んでいる が、身につけておらず、グループでの情報共有もできていない。
	計画実行力	◯見通しを持って、自ら実験系を的確に考案・計画し、実行することができる。	◯教師のアドバイスをもとに、見通しを持って的確な実験を計画し実行することができる。	◯教師のアドバイスをもとに、的確な実験を計画することができる。	◯教師のアドバイスをもとに、実験を計画しているが十分ではない。	◯実験を計画に取り組んでいるが、表現できていない。
データ活用力	データ判断力	○情報処理の基本的スキルを習得した上で、必要なデータを得るためのプログラムを利用し、法則や原理、結果の傾向や規則性等などを根 拠に、分析・判断できる。	○情報処理の基本的スキルを習得した上で、必要に応じて外部のデータやビックデータ等も活用し、結果の傾向や規則性等を見出した上で、分析・判断できる。	◯情報処理の基本的スキルをおおむね習得し、複数のデータを比較し、結果の傾向や規則性等を いくつか見出した上で判断できる。	◯情報処理の基本的スキルは不十分だが、実験データをまとめ、結果の傾向や規則性等を挙げることができる。	◯情報処理の基本的スキルは不十分であり、実験データをまとめることもできず、結果の傾向や規則性等をあげることができない。
	データ分析力	○課題解決に必要な根拠について、学術的に十分な分析結果を提示することができる。	○課題解決に必要な根拠について、数的処理（t検定、相関等）をするなど、十分な分析結果を提示することができる。	○課題解決に必要な根拠について分析結果を提示することができる。	○課題解決に必要な根拠について分析結果を提示することができるが、データもしくは分析が不足している。	○課題解決に必要な根拠について適切にまとめているが、データが不足し、分析できていない。
多面的思考力	共創的態度	○外部機関の研究者や他校または海外の生徒の意見を尊重・傾聴し、共同研究を行う中で、新たな価値を生み出すことができる。	○他校または海外の生徒の意見を尊重・傾聴し、互いの強みや弱みに気づき、共同研究の可能性を考えることができる。	○他学科の生徒の意見を尊重・傾聴し、互いの強みや弱みに気づき、共同研究の可能性を考えることができる。	○グループ内で、意見を尊重・傾聴し、研究テーマを協働して考えることができる。	○グループ内で、意見を尊重・傾聴することが十分ではなく、研究テーマを協働して考えることができない。
	客観的評価（メタ認知）	○科学的に根拠に基づき、得られた成果を、社会的側面や倫理的側面からも総合的に評価し、新たな価値を発信している。	○科学的に根拠に基づき、得られた成果を、社会的側面や倫理的側面からも総合的に評価することができる。	○科学的に根拠に基づき、得られた成果を専門分野以外の視点からも評価しようとしている。	○科学的に根拠に基づき、得られた成果を適切に評価しようとしている。	○科学的に根拠に基づき、得られた成果をうまく評価することが十分ではない。
科学的表現力	表現する力	○外部発表会や学会の投稿規約に従って、要約や論文を執筆することができる。	○校内の論文執筆様式やﾁｪｯｸﾘｽﾄに従って要約を適切に書き、本文も執筆することができる。	○校内の論文執筆様式やﾁｪｯｸﾘｽﾄに従った論文を概ね執筆することができる。	○論文を執筆することできるが、校内の論文執筆様式やﾁｪｯｸﾘｽﾄと照らし合わせたときに、不十分な部分が目立つ。	○論文執筆をしようとしているが、不十分である。
	伝える力	○発表会などで、専門家や先生方の意見を理解し、議論を踏まえた上で自分の考えを説明できる。	○グループ内で相手の意見を理解し認めた上で、自分の意見を相手に丁寧に説明できる。	○グループ内で相手の意見を理解し、自分の意見を適切に説明できる。	○グループ内で相手の意見に対して、自分の意見を説明しようとするが、十分に説明できない。	○グループ内で相手の意見に対して、 YES、NOで答えることができる。
科学的英語運用力	英語で読み書きする力	○英語の文献を読んで理解でき、課題解決に必要な情報を得ることができる。	○作成した研究報告書を的確な表現で英訳できるとともに、高校生が書いた英語による研究報告書を概ね理解できる。	○作成した研究報告書をおおむね的確な表現で英訳することができる。	○作成した研究報告書をおおむね英訳することができるが、的確ではない表現が多く見られる。	○作成した研究報告書を一部英訳することができるが、的確な表現ではない。
	英語で聞き話す力	○海外の生徒等に対して、課題研究について英語でディスカッションし、研究に関する的を得た質問が できる。	○研究成果を原稿なしに英語で発表することに加えて、質疑応答を即時に英語でできる。	○研究成果を原稿なしに英語で発表することができる。	○研究成果を原稿を見ながら英語で発表することができる。	○研究成果を原稿を見ながら英語で発表できるが、スムーズに読めず、相手に伝わらない。